

“誰もが安心して暮らせるまちづくり”

それをめざすのが、湯河原町地域福祉活動計画です。

「困っていることがあります…。」「何か役に立てることがあるでしょうか…。」

そんな願いや思いが繋がって、みんなが笑顔でいられる町にしたい。



えがお

第13号

(第13号主な内容)

～ コロナ禍から見える地域福祉のこれから ～

1年前からのコロナ禍により、生活スタイルが大きく変わりました。湯河原町社会福祉協議会（以下 社協）でも予定していた事業がほぼ中止となりました。これまで、当たり前に行えた事ができなくなっただけではなく、多方面に様々な影響が及んでいます。

こうした状況の中で、社協が取り組んできた支援を通じて、感じた地域福祉の「これから」について考えてみたいと思います。

※ “えがお” は町民の皆様と協働で、身近な福祉を考える参画の場です。地域福祉活動計画推進・取り組み等を掲載。年2回（4月・10月）発行いたします。

発行：社会福祉法人湯河原町社会福祉協議会
令和3年4月発行

編集：湯河原町地域福祉活動計画推進委員会
湯河原町中央四丁目12番地5

電話：0465-62-3700 / FAX：0465-62-5150

“えがお” No.12 でも触れましたが、コロナ禍で社協が取り組んだ支援に、減収・失業で苦しむ人への生活福祉資金貸付事業による特例貸付と、「ゆがわらフードコネクト」による食料支援があります。

特例貸付については、1,000 件以上の相談・問い合わせが寄せられ、450 件を超える申込がありました。また、食料支援についても、単身世帯や母子世帯を中心に 70 件を超える支援を行いました。



困窮は必ずしも低所得の人達だけの問題ではないこと。就業形態の多様化に関する問題等、これまで見受けられなかった案件から、埋もれていた課題等に気づくと共に、こうした状況を独りで抱え込んで苦しみ、孤立する存在にも気づかされました。そうした人達は単身者のイメージがありますが、家族、友人、知人等頼れる存在が近くにいるという人の中にも孤立はあるという事実を見逃してはいけません。



これまで、「地域のつながり」を構築することが地域の孤立を防ぎ、不測の事態への備えになるとして地域福祉活動計画を推進してきました。

“つながり”は悩み苦しんでいる人だけではなく、私達にも必要不可欠なものです。「地域福祉のこれから」は全ての人と一緒に“つながり”を作ることです。

“えがお” No.13 掲載内容に関するお問い合わせ等

社会福祉法人湯河原町社会福祉協議会

住 所：湯河原町中央四丁目 12 番地 5

電 話：0465-62-3700

F A X：0465-62-5150

みんなで作ろう “地域のつながり” ！